

図書館だより

NO. 93 2005年 11月号
(2005年11月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話(0829)20-0333
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

11月3日、廿日市市・大野町・宮島町が合併します！

合併に伴い、大野町図書館がはつかいち市民大野図書館として新たに加わります。

貸出冊数は、図書が8点、視聴覚資料が2点となります。どちらの図書館でも資料の返却ができ、予約資料も受け取り館を選べるようになります。

利用カードは、はつかいち市民図書館の利用カードに統一され、どちらの図書館でも利用できます。はつかいち市民図書館の利用カードをお持ちでない方は、新たに利用登録をしてください。

ホームページも、はつかいち市民図書館に統一されます。はつかいち市民図書館のインターネット予約のパスワードをお持ちでない方は、新たに申請をしてください。

※利用カード・パスワードの登録には、ご住所の確認できるものをお持ちください。

※大野西公民館図書室の資料貸出しには、はつかいち市民図書館の利用カードが必要です。それぞれの図書館で借りた本とあわせて1人8冊までとなります。また、大野西公民館図書室は、火曜日から日曜日、10時から17時まで開館します。なお、祝日および図書館の休館日は閉館します。

詳しくは、図書館の窓口へおたずねください。

今月の展示

・読書の楽しみ

正面

自分で選ぶのも楽しいけれど、誰かのオススメの本に触れてみることで、読書の世界が広がることもあります。本の紹介や読書について書かれた本を集めました。

・さくらびあ物語の本

展示コーナー

オペラをもっと楽しむために…気軽に読める入門書などを紹介します。

児童書

・『音が聞こえるよ』

子どもの本の展示コーナー

リズムに乗って踊ったり、自然の音で癒されたり…耳を澄ますといろんな音が聞こえてきます。ほっと一息できる音、楽しい音、今月はそんな音の本を集めてみました。

今月の新刊 おとなの本

図書館には1カ月に約800冊の新刊が入ります。ここでは、その中からみなさんにおすすめしたい本を4点あげてみました。

※図書館のホームページで新着図書の一覧をみることができます。

『どうぶつ友情辞典』

あべ 弘士/著 クレヨンハウス
480/ア

わたしたち「人」は昔から、とても上手に動物たちとつきあってきたと思います。イヌやネコはもちろん、家畜も、野生動物とも愛し愛され、殺し殺されながら。旭山動物園で25年間飼育係だった絵本作家・あべ弘士さんの動物辞典。

『世界の保存食をつくる本』

-干す、付ける、煮込む…で旨みを引き出す-
地球丸 596/セ

イギリスのミンスミート、イタリアの干しトマト、ドイツのお菓子の家、韓国のキムチ、日本の桜塩…。保存食を調理加工する際、その保存に最も効果的な役割を果たす砂糖や酢などの調味料の別に、世界の保存食の作り方を紹介。

『セリエAに挑んだ男たち』

-カズ+中田+名波+俊輔+柳沢-
パオロ・ロッシ/著 片野道朗/訳
朝日新聞社 783.4/ロ

世界最高峰のリーグに敢然と挑戦した5人の日本人選手。イタリア人ジャーナリストが辿ったその栄光と苦闘の記録。日本のマスコミ報道からはおそらく見えてこなかった日本とイタリアの「温度差」も、期せずして浮き彫りにする。

『県庁の星』

桂 望美/著 小学館 F/ミ

小学校の時からずっと成績優秀、品行方正。役人根性全開の県庁のエリートが、田舎のスーパーにやって来た。手に汗握る、役人エンターテインメント! サラリーマンも身につまされる役人意識構造改革ストーリー。映画化も話題に。

図書館にある全集紹介

個人全集(日本) 7

みなさんは「読みたい本が単行本では貸出中だけれど全集にはあります」といわれたことがありますか? 図書館には、いろんな種類の全集を揃えています。そこで、具体的にどういうものを所蔵しているのか、紹介していきます。

- ・『校定 新美南吉全集』 1~12 別巻1~3 新美 南吉/著 大日本図書
918.6/ニ

有名な「ごんぎつね」「手袋を買いに」など数々の心にしみる名作を生涯に残した新美南吉さんの全集です。

- ・『松谷みよ子の本』 1~10 別巻1 松谷 みよ子/著 講談社 918.6/マ

児童文学作家としても、民話の採集など研究分野でも活躍される松谷みよ子さんの全集。

「ダニエルのふしぎな絵」

バーバラ・マクイントック/作

福本 友美子/訳 ほるぷ出版 E/マ

ダニエルは絵を描くのが好き。そして、その絵は不思議な絵ばかり。空想の翼を広げると次々に生まれてくるのです。でも、写真家のお父さんは、その絵が理解できません。自分の道を見つけていく少女のお話。

「はじめてのこうさくあそび」

/ニ/コ/著 のら書店 750/ハ

けずり絵やはじき絵、紙で作ったダンスドール、ししゅうのカードなど、楽しく作られた作品はすべて著者の長女が5-6歳の頃実際に作ったもの。親子で作ったり、遊んだり、アイディアがいっぱいの本です。

「ジュリエッタ荘の幽霊」

ヘアトリーチェ・ソハーストンキ/作

エマエーラ・ブッラーティ/絵 長野 徹/訳
小峰書店 973/ソ

第二次世界大戦末期、リッリは母と弟と町からこの村に疎開してきた。ある夏の日彼女は、村人から「呪われた屋敷」と呼ばれる家で、偶然少女を見かけた。イタリアを舞台に少女たちの友情と成長を描く。

「ひゃくにんのおとうさん」

譚 小勇・天野 祐吉/文 譚 小勇/絵
福音館書店 E/タ

昔、山奥の小さな村に働き者の若い夫婦が住んでいた。ある日、二人は畑の中から大きなかめを見つけた。そのかめは不思議なかめで……。『こどものとも世界昔ばなしの旅』(全30冊)の1冊。

「発明家は子ども！」

マーク・マクチャン/著 ジョン・カネル/イラスト
千葉 茂樹/訳 晶文社 507/マ

11歳の少女が冥王星の名づけ親になり、14歳の少年がテレビを発明した。科学の発展に貢献した子どもたちは、アイディアを思いつき、実現するために一生懸命取り組んだ科学者作家の子ども時代を紹介する。

「びゅーん！こがらしーごう

ーミナモとキースケのたからさがしー」

長崎 夏海/作 佐藤 真紀子/絵
ポプラ社 913/ナ

ミナモは、ほんやりしているキースケの前で「あたし、ちきゅうのたんけんに行く。」と宣言した。決行は土曜日、目的地はあら川。乗り気でないキースケを誘って、ふたりは、こがらしの中を飛び出した。

● 『こどもたちへ一夜回り先生からのメッセージ』

水谷 修/著 サンクチュアリ出版 159.7/ミ(ヤングコーナー)

● 『赤ちゃん絵本ノート—赤ちゃんが微笑む、とっておきの絵本 160冊—』

田中 尚人・あべ みちこ/監修 マーブルトン 019.5/ア(児童研究書コーナー)

● 『気分はもう、裁判長』 北尾 トロ/著 理論社 327/キ

● 『みつばち』 丘 修三/作 片岡 まみこ/画 くもん出版 913/オ

● 『ハチミツドロップス』 草野 たき/著 講談社 913/ク

● 『タンタン ソビエトへ—タンタンの冒険旅行 21—』

エルジエ/作 川口 恵子/訳 福音館書店 E/エ

● 『山いっぱいのかんか』 君島 久子/ぶん 太田 大八/え 童話館出版 E/オ

図書館からのお知らせ

おはなしの部屋 “たまたばこ”

～ストーリーテリングのおはなし会～ が今月から始まります。

と き 11月19日(土) 11:00～11:30

(奇数月の第3土曜日に定期的に開催する予定です)

ばしょ 図書館会議室

対 象 幼児から大人まで (30分程度おはなしの聞ける方)

“ストーリーテリング”というのは、昔話や創作の物語を覚えて、本を見ずに生の声で語り聞かせることです。おはなしのイメージが頭の中に鮮明に浮かびあがり強い印象と深い感動を残します。

図書館からのご案内

<利用カードを持ってきてください>

本を借りるとき「カードを忘れたのですが」と言う人が増えています。市民図書館では、カードが無くても、お名前と電話番号でカードを検索することができます。しかし、これには少し時間がかかります。

特に、土日は貸出の列ができることもあり、みなさんを余計お待たせすることとなります。みなさんに気持ちよく利用していただくためにも、利用カードをお持ちください。

なお、カードを紛失してしまった場合は、カウンターへお申し出ください。再発行の手続きをとります。ただ、もう一度よく探してみてください。思わぬところから出てくるものです。

利用案内

開館時間 10:00～18:00

貸出冊数 図書 2週間 5冊
視聴覚資料 2週間 2点
(11/3からは、図書8冊、
視聴覚資料2点になります)

休館日 月曜日(祝日のときは翌日)
毎月月末日(その日が土・日・月
のときはその翌日)

返却ポスト 1. 正面玄関向かって左
2. 図書館裏駐車場右